

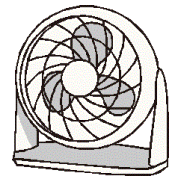
# 牛の暑熱対策を行いましょう！

気象庁によると近畿地方3か月予報では「6月の気温は前線や湿った空気の影響を受けやすく、ほぼ平年並みとなる見込み。6月の降水量は平年並みか多く、7月は太平洋高気圧に覆われやすく、平年並みか少なくなるとされています。真夏の体力低下を少しでも減らすために、今年も効果的な暑熱対策に取り組みましょう！

## 牛舎の環境改善

《牛舎内の温度上昇を防ぎましょう》

- 屋根や壁に断熱材を設置、白色ペンキや石灰を塗布する。
- 寒冷紗や緑のカーテンで直射日光を遮断する。
- こまめな除糞で、牛舎内の発酵熱やアンモニアの発生を減らす。
- 周囲の下草を刈り、不要な物を片付けて風通しを良くする。



## 牛の暑さ対策

《牛の体感温度を下げましょう》

- 換気と送風で、体感温度を下げる。
- 発熱、流涎、食欲不振、呼吸促迫など熱射病の症状があらわれたら獣医師に相談のうえ、必要があれば牛を外の涼しい場所に出し、後頭部と体に十分水をかけた後、風をあてて体を冷やす。

（特に一日の暑さがこもる夕刻～夜間の送風は有効）

屋根を白く塗装



大型扇風機を設置



ご不明な点は当所までお問い合わせください。

京都府丹後家畜保健衛生所 与謝郡与謝野町字下山田616  
TEL 0772-43-1125（夜間・休日もつながります）  
FAX 0772-43-1124